

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑨	学校名	西和養護学校
----	---	-----	--------

1. 取組名 『桜ヶ丘・下牧地区、美化つながりプロジェクト』

2. 活動内容

職業科の「流通サービス」の授業では、清掃活動に取り組んでいる。3年生はスクイジーを使った窓清掃の技術習得を経て、学校の近くにある上牧幼稚園に2回、上牧第三小学校に3回出かけて行き窓掃除をさせてもらった。2年生は西和養護学校周辺の桜ヶ丘地区と下牧地区の清掃活動を実施した。

「流通サービス」では、靴下の輪を使った手作り品「椅子脚カバー」「アクリルタワシ」と「ラベンダーポプリ」の制作に取り組んでいる。今年度は新たに、地域のコミュニティセンター「桜ヶ丘憩いの家」をお借りして、学校で取り組んでいる「アクリルタワシ」の制作活動を地域の方と一緒にいった。制作活動を通じて、本校の高等部の生徒が地域の住民の方々と交流する取り組みを実施した。2年生の黄グループ（ミドルグループ）は2班あり、2学期に1回ずつ2回実施した。地域の方は2回本校の生徒と関わってもらうことができた。



地域のコミュニティセンター「憩いの家」

3. 成果と課題

幼稚園や上牧第三小学校と地域の清掃活動だけでは、なかなか地域の方と交流することができなかった。今回「憩いの家」をお借りすることで地域の方と本校の生徒が交流できたことは貴重な体験であった。

地域も毎年高齢化が進んでいるが、本校の高等部の生徒との交流が地域のお年寄りの方の励みになり、そのことで地域の活動が一層活発化すると嬉しいと思っている。本校にとっても地域と繋がり、さらに密接な関係を築いていくことが期待されている。



4. 次年度に向けて

次年度は、本校高等部の教育課程の変更のため、職業科「流通サービス」の授業が1・2年生となる。現在の学習内容を下学年の学習内容にシフトする予定である。

桜ヶ丘地区の方には、手づくり品と一緒に制作した取り組みが好評で、次の機会をととても楽しみにしていただけている。次年度も1年生は手づくり品の制作活動を地域のコミュニティセンターをお借りして地域の方々と一緒にすることを通して交流をさらに深めていければと考えている。本校の生徒にとっても、場所を変えて地域の方と一緒に手づくり品を制作することがよい刺激となり、その後の学校生活の糧ともなっている。